

第4回  
八幡市男女共同参画プラン懇話会  
－議 事 要 旨－

日時	: 令和7年10月15日(水)	午前10時00分～午前12時00分
場所	: 八幡市本庁4階会議室4-2	
出席委員	: 中山委員、八頭司委員、山下委員、家村委員、 吉川委員、本郷委員、嶋本委員、山口委員、田野委員	

1. 開会

2. 議題

(1) 八幡市男女共同参画プラン ループ計画Ⅲ(後期プラン) 素案について

〔政策領域Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画の推進について〕

会長

データについて、グラフがある部分とそうでない部分があるのはなぜでしょうか。

事務局

数値化できるものは、可能な限りグラフにしていますが、数値に表せないものも多くあります。

委員

プランの体系は、A3の横長の体裁にしたほうが見やすいのではないのでしょうか。基本目標以下のページの並びも見開きで構成した方が読みやすいと思います。

事務局

現時点では、体系図が見開きになっていませんが、最終的には前回のプラン同様、見開きで示し、分かりやすいようにしたいと思います。

委員

6ページの主要施策(2)の①市民活動における男女共同参画の推進の主な施策・事業の中で、「女性会への活動助成」とありますが、女性会は女性団体の一つにすぎないと思いますので、ここは「女性団体への活動助成」とすべきかと思います。

#### 事務局

ご指摘のように、女性団体としては生涯学習課が所管している女性会のほかに、人権政策課が所管している女性団体連絡協議会などもあります。

#### 委員

助成対象となっているのは女性会だけで、ほかの小さな集まりはボランティアですから、この箇所は現状のままでよいのではないのでしょうか。

#### 事務局

ご指摘の箇所については、事務局で表現を検討いたします。

また、他市においても、女性が活躍する団体を新たに取り込もうという動きがありますので、女性会への助成のほかに、今後新たな女性団体への支援を拡充する、推進するといった文言を付け加えたいと思います。

#### 委員

9 ページに「メンター制度」とありますが、注釈のようなものがあつたほうがよいのではないのでしょうか。

#### 会長

「メンター制度」に関する注釈を入れる形でお願いいたします。

#### 委員

8 ページの「八幡市の審議会等における女性委員の登用率」「八幡市職員の女性管理職の割合」のグラフは平成 29 年からほとんど数値の変化がありませんが、グラフ化して載せる意味はあるのでしょうか。

#### 会長

変化がないことを示すことで読み解けるものもあります。平成 29 年から大きく変わっていないのだな、という衝撃がわかります。

#### 委員

1995 年の世界女性会議の北京会議に参加してから 30 年が経ちますが、あの当時の全体の目標は 8% だったと思います。いまやっと女性管理職の割合が 20% 近くに上がったということで、これだけ時間がかかったという見方があってもおもしろいと思います。ただ、50% になるにはあと何年かかるのだろうかとも思います。

## 〔政策領域Ⅱ 安心・安全な市民生活について〕

### 委員

28 ページには「ジェンダーに基づくあらゆる暴力を許さない意識づくり」とあって、41 ページでは「男女共同参画の視点にたった防災・災害時支援体制づくり」とありますが、「ジェンダー」と「男女」はどのように使い分けていますか。

### 会長

日本では戦後、日本国憲法で「男女平等」という言葉が初めて出てきました。国連も 1945 年の創設以来、女性の平等という問題を重要な活動の一つとしてきましたが、それから 30 年経っても女性の地位向上は進まず、その時に国連が掲げた表現が「ジェンダー平等」という単語でした。ただ、日本では 1999 年に男女共同参画社会基本法を制定するにあたっては、法制審議会のなかで「ジェンダー」を使うかどうかの議論があり、表現としては「男女平等」ではなく、「男女共同参画」を使うことでおさめた経緯があります。ただ、法律のタイトルを英訳すると、「Basic Act for Gender Equal Society」と、「Gender」が使われています。そのため、基本的に「男女平等」「男女共同参画」「ジェンダー平等」という言葉を分けて考えるものではないと思います。

### 事務局

国が現在策定を進めている第 6 次男女共同参画基本計画の「策定に当たっての基本的な考え方（素案）」では、「ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない社会基盤の形成と被害者支援の充実」という章が設けられており、そちらに合わせたほうがよいのではという判断から、28 ページでは「ジェンダー」という表現を用いています。暴力防止以外の部分は「男女共同参画」のままにしています。

### 委員

24 ページでは「子どもの見守り」、28 ページでは「こども・若者」など、「子ども」と「こども」の表記が混在していますが、どちらかかに統一したほうがよいのではないのでしょうか。

### 事務局

法律名など固有名詞として「子ども」を使っている場合、こども家庭庁のように、「こども」を使う場合などさまざまありますので、事務局で検討したいと思います。

### 委員

26 ページにある「アンケート調査」とは、いつの調査のことなのでしょうか。

#### 事務局

今年度行った市民・事業所対象の八幡市男女共同参画に関するアンケート調査です。相談件数などの統計データは年度ごとの集計になりますが、アンケート調査については、実施年をカッコ書きで入れていきたいと思います。

#### 会長

41～42 ページの「男女共同参画の視点にたった防災・災害時支援体制づくり」に関連して、防災の専門家の方から地域の防災会議に女性が4割入るだけで、状況が大きく変わるといってお話をうかがったことがあります。4割は難しいとしても3人程度女性が入ることで、防災への目のつけどころの質が上がるという指摘でした。

#### 事務局

現状、女性委員の割合は10%程度で、目標値を30%としています。

#### 会長

例えば、災害時の避難所での生理用ナプキンの準備について、女性委員が入っていないと、様々な種類をそろえるという発想が出てきません。京都府内では長岡京市の女性委員の割合が全国的にも高いですが、最低でも3割以上を目標とする、といったことを記載してもよいかもしれません。

また、災害関連死の防止や避難所でのトイレ問題、性犯罪、授乳の問題等、女性の視点は欠かせないと思います。

#### 事務局

今後の方向として、少なくとも3割以上という形で調整していきたいと思います。

#### 〔政策領域Ⅲ 男女共同参画社会のさらなる推進に向けた環境整備について〕

#### 委員

47 ページで「やわた男女共同参画フェスティバルの推進」とありますが、愛称があれば、そちらも入れたほうがよいのではないのでしょうか。たとえば46 ページでは、八幡市教育委員会広報紙「くすのき」と愛称が入っています。

#### 事務局

「やわた男女共同参画フェスティバル」の愛称は「るーぷフェスティバル」です。「やわた男女共同参画フェスティバル（るーぷフェスティバル）等の推進」のように記載したいと思います。

委員

先日、日本女性会議の橿原大会に行きました。そこで奈良大学、奈良教育大学、帝塚山大学の女子学生の話を知ると、わたしたちの時代とは違って学校を卒業するまではジェンダー平等の世界にいるのだなと思いました。社会に出てからも、そうあり続けてほしいと願います。

会長

ジェンダーギャップ指数など国際社会から見ると牛歩の状態であるため、この施策で背中を押すことが大事かなと思います。

委員

まだ素案であるため、これから変わるのだと思いますが、計画の中の「八幡市ではココが重要！」という部分については、より目立つようにしていただきたいと思います。

会長

ここを八幡のポイントにしたらどうか、という提案はありますか。

委員

アンケートのこともそうですし、パートナーシップ宣言など行政としての動きのアピールも見せていくべきだと思います。

会長

名称は別にして、品のいいおしゃれな「八幡ポイント！」があるとよいですね。

事務局

今回は八幡市にちなんだエジソンのフィラメントをモチーフに電球のカットを使用しました。

委員

八幡市けんこう大使やわたんのようなキャラクターはどうでしょうか。

事務局

キャラを入れるか、記号的なものにするかは、一度事務局で検討します。

会長

委員の皆様も、アイデアがあれば事務局までご提案ください。

## (2) パブリックコメントについて

### 事務局

本日の計画素案について、追加でご意見がありましたら、事務局へご連絡頂ければと思います。委員の皆様からいただいたご意見を踏まえた修正を行い、その案をパブリックコメントに出していく予定です。パブリックコメントは12月頃から実施予定です。

## 3. 閉会

以上